

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年10月9日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自 2019年6月1日 至 2019年8月31日）
【会社名】	株式会社スタジオアタオ
【英訳名】	STUDIO ATA0 Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 瀬尾 訓弘
【本店の所在の場所】	兵庫県神戸市中央区御幸通八丁目1番6号
【電話番号】	078-230-3370（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部ゼネラルマネージャー 山口 敬之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座三丁目10番9号
【電話番号】	03-6226-2772（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部ゼネラルマネージャー 山口 敬之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第2四半期連結 累計期間	第16期 第2四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自2018年3月1日 至2018年8月31日	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2018年3月1日 至2019年2月28日
売上高 (千円)	2,297,415	2,407,683	4,214,117
経常利益 (千円)	557,472	538,288	746,294
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	386,692	373,362	532,252
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	386,692	373,362	532,252
純資産額 (千円)	1,748,713	2,274,839	1,896,452
総資産額 (千円)	2,534,415	2,977,937	2,600,514
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	30.93	29.49	42.52
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	30.01	28.96	41.47
自己資本比率 (%)	69.0	76.4	72.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	387,756	355,029	442,440
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	11,701	110,678	50,205
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	248,106	51,302	190,248
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,436,401	1,587,772	1,394,723

回次	第15期 第2四半期連結 会計期間	第16期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年6月1日 至2018年8月31日	自2019年6月1日 至2019年8月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	11.54	11.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、第15期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。また、当社グループは、ファッションブランドビジネス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種施策の推進により企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調の動きが見られた一方、中国やアジア新興国経済の減速リスク、米国政権による政策動向等、世界経済の不確実性が増す中、景気の先行については不透明な状況が続いております。当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましても、個人消費が物価上昇への懸念等により低下が継続する厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引続きインターネット販売や既存店の強化を行っております。また、オンラインショップと店舗の一層の連携を図るべく、引続き販売促進費の増額、SNS活動の強化、自社ブランドのポータルブログを活用したO2O戦略の強化を行いました。

さらに、2019年3月15日にブランド価値向上及び顧客サービスの一層の強化並びに売上及び利益の更なる拡大を図るべく、ATAO神戸本店及びIANNE神戸店を大幅拡張リニューアルし、当社グループが展開するすべてのコンテンツ及び限定品を取り扱う総合ショップ「アタオランド」をオープンいたしました。また、効率的な店舗運営等の観点から、同店の近隣店舗であるATAO大丸神戸店の営業を2019年3月5日をもって終了し、「アタオランド」に移転統合しております。「アタオランド」は、当社グループが展開するすべてのコンテンツを盛り込んだ、全国初の約100坪の大型店舗であり、ブランド発祥の地である神戸から、これまで以上に発信を強化し、他府県からの観光客の取り込みや、海外からの観光客にも訴求できる魅力ある店づくりを行ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販売業態別の売上高は、「アタオランド」のオープンに向けた休業期間やATAO大丸神戸店の移転統合等があったものの店舗販売は1,015,488千円（前年同四半期比13.2%増）となり、インターネット販売はインターネット広告の単価上昇等の影響により1,280,052千円（同2.7%減）となりました。また、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,407,683千円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益537,981千円（同3.1%減）、経常利益538,288千円（同3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益373,362千円（同3.4%減）となりました。

資産の部

総資産は2,977,937千円であり、前連結会計年度末と比較して377,423千円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が193,049千円、売掛金が198,295千円増加したことです。

負債の部

負債合計は703,097千円であり、前連結会計年度末と比較して964千円減少しております。主な減少要因は、長期借入金が56,327千円減少したことです。

純資産の部

純資産は2,274,839千円であり、前連結会計年度末と比較して378,387千円増加しております。主な増加要因は、利益剰余金が373,362千円増加したことです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,587,772千円となり、前連結会計年度末より193,049千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは355,029千円(前年同四半期比32,727千円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益538,288千円による資金の増加、売上債権の増加額198,295千円及び法人税等の支払額129,775千円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは110,678千円(前年同四半期比98,977千円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出90,357千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは51,302千円(前年同四半期は248,106千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出56,327千円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,726,000	12,726,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	12,726,000	12,726,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】
該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
2019年6月1日 (注)	6,363,000	12,726,000	-	130,797	-	120,797

(注) 株式分割(1:2)によるものであります。

(5) 【大株主の状況】

2019年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
瀬尾 訓弘	兵庫県神戸市中央区	3,200,600	25.15
株式会社セブンオー	東京都中央区銀座6丁目13-16	2,300,000	18.07
黒越 誠治	兵庫県西宮市	1,230,000	9.67
株式会社九六	東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー27F	1,230,000	9.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	797,800	6.27
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6, ROUTE DE TREVES, L-2633 SENNINGERBERG, LUXEMBOURG (東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟)	609,200	4.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	478,400	3.76
AEGON CUSTODY BV REMM EQUITY SMALL CAP FUND (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	AEGON PLEIN 50 THE HAGUE NL 2591 TV (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	250,100	1.97
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	163,100	1.28
長南 伸明	東京都世田谷区	155,400	1.22
計	-	10,414,600	81.84

(注) 1. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社並びに野村信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、1,439,300株であります。

2. 2018年5月21日付で、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社より当社株式に係る大量保有報告書が関東財務局長に提出されております。当該大量保有報告書において、2018年5月15日現在で同社が411,300株を保有している旨が記載されておりますが、当社として第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、その大量保有報告書の内容は次の通りであります。また、当社は2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、下記の保有株券等の数は、当該株式分割前の株式数を記載しております。

大量保有者	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
保有株券等の数	株式 411,300株
株券等保有割合	6.58%

3. 2019年6月5日付で、スパークス・アセット・マネジメント株式会社より当社株式に係る大量保有報告書が関東財務局長に提出されております。当該大量保有報告書において、2019年5月31日現在で同社が685,700株を保有している旨が記載されておりますが、当社として第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、2019年9月18日付で当社株式

に係る大量保有報告書の変更報告書が関東財務局長に提出されており、同社が2019年9月13日現在で862,300株保有している旨が記載されております。なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は次の通りであります。

大量保有者	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
住所	東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス 6階
保有株券等の数	株式 862,300株
株券等保有割合	6.78%

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,723,900	127,239	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,900	-	-
発行済株式総数	12,726,000	-	-
総株主の議決権	-	127,239	-

(注) 2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

【自己株式等】

2019年8月31日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社スタジオアタオ	兵庫県神戸市中央区 御幸通8丁目1番6号	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

(注) 2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表についてEY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,723	1,587,772
売掛金	295,467	493,763
商品	676,968	547,708
その他	11,689	21,867
流動資産合計	2,378,849	2,651,112
固定資産		
有形固定資産	92,293	178,720
無形固定資産	15,405	15,625
投資その他の資産	113,964	132,479
固定資産合計	221,664	326,824
資産合計	2,600,514	2,977,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,134	72,363
1年内返済予定の長期借入金	113,844	113,844
未払法人税等	138,075	175,670
ポイント引当金	16,858	19,366
その他	152,321	188,131
流動負債合計	523,234	569,374
固定負債		
長期借入金	150,549	94,222
退職給付に係る負債	9,605	10,960
資産除去債務	20,672	28,539
固定負債合計	180,827	133,722
負債合計	704,061	703,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	128,285	130,797
資本剰余金	118,285	120,797
利益剰余金	1,650,220	2,023,582
自己株式	338	338
株主資本合計	1,896,452	2,274,839
純資産合計	1,896,452	2,274,839
負債純資産合計	2,600,514	2,977,937

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	2,297,415	2,407,683
売上原価	862,666	878,289
売上総利益	1,434,748	1,529,393
販売費及び一般管理費		
販売促進費	287,189	332,557
ポイント引当金繰入額	5,395	2,508
支払手数料	180,937	187,623
その他	406,231	468,722
販売費及び一般管理費合計	879,753	991,412
営業利益	554,994	537,981
営業外収益		
受取家賃	480	582
保険解約返戻金	2,408	-
その他	95	69
営業外収益合計	2,984	651
営業外費用		
支払利息	505	344
営業外費用合計	505	344
経常利益	557,472	538,288
税金等調整前四半期純利益	557,472	538,288
法人税、住民税及び事業税	174,632	164,863
法人税等調整額	3,852	61
法人税等合計	170,780	164,925
四半期純利益	386,692	373,362
親会社株主に帰属する四半期純利益	386,692	373,362

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	386,692	373,362
四半期包括利益	386,692	373,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386,692	373,362
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	557,472	538,288
減価償却費	23,544	14,012
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	886	1,355
ポイント引当金の増減額(は減少)	5,395	2,508
支払利息	505	344
売上債権の増減額(は増加)	151,466	198,295
たな卸資産の増減額(は増加)	74,479	129,260
仕入債務の増減額(は減少)	2,287	29,771
未払金の増減額(は減少)	8,485	44,716
その他の資産の増減額(は増加)	14,841	10,933
その他の負債の増減額(は減少)	20,955	6,417
その他	2,793	57
小計	483,000	485,123
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	505	327
法人税等の支払額	94,745	129,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	387,756	355,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	9,826	90,357
無形固定資産の取得による支出	6,826	1,744
差入保証金の差入による支出	-	17,123
その他	4,951	1,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,701	110,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	51,894	56,327
株式の発行による収入	-	5,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	248,106	51,302
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	624,161	193,049
現金及び現金同等物の期首残高	812,239	1,394,723
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,436,401	1,587,772

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
現金及び預金	1,436,401千円	1,587,772千円
現金及び現金同等物	1,436,401千円	1,587,772千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

当社グループは、ファッションブランドビジネス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社グループは、ファッションブランドビジネス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	30円93銭	29円49銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	386,692	373,362
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	386,692	373,362
普通株式の期中平均株式数(株)	12,503,906	12,659,671
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	30円01銭	28円96銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)		
普通株式増加数(株)	383,818	232,217
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年10月9日

株式会社スタジオアタオ
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小市 裕之

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新居 幹也

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタジオアタオの2019年3月1日から2020年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタジオアタオ及び連結子会社の2019年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。